

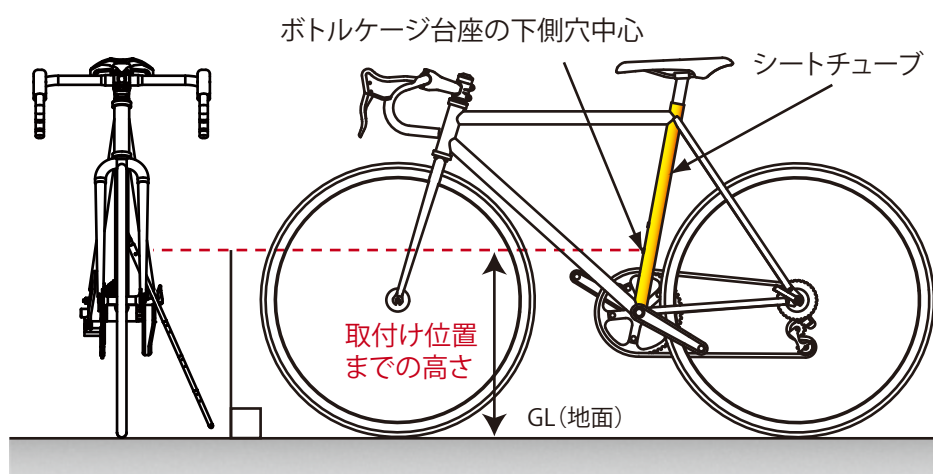
対応自転車の見分け方ガイド

以下の表は、PHS-1を取付けるボトルケージの台座位置によって、PHS-1の使用が可能かどうかの目安を表記しています。取付け位置までの高さを測定し、PHS-1本体の長さ調整機能を組み合わせることで、使用できる自転車を見分ける方法です。

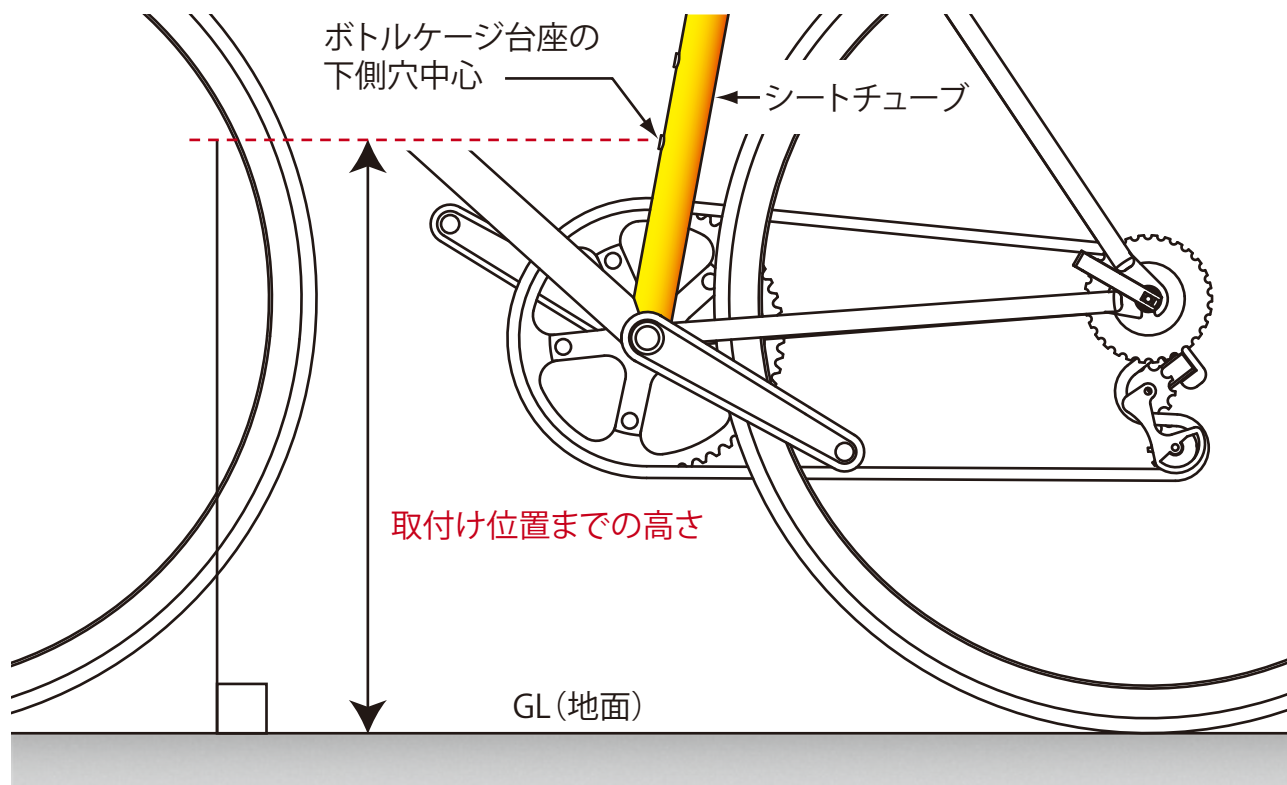
- 一般にスタンド使用時の自転車の傾きは6°から10°が適切です。
- フレームデザインや車体重量など、個々の組み合わせによっては、上記の傾き角度以外でも使用できる場合があります。
- 製品のポール自体がしなることで、若干の角度調整ができます。
- ボトルケージの台座がフロントディレーラーの取付けバンドをまたぐ場合、使用できないことが多いのでご注意ください。

取付け位置 までの高さ

推奨寸法
420mm~500mm



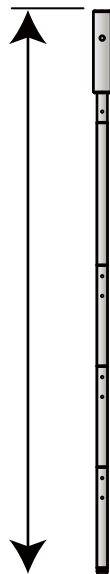
自転車を地面に対して垂直に置いた状態で、シートチューブに設置されているボトルケージ台座の下側穴中心から垂直線を下ろし、地面までを測った長さ。



PHS-1の全長

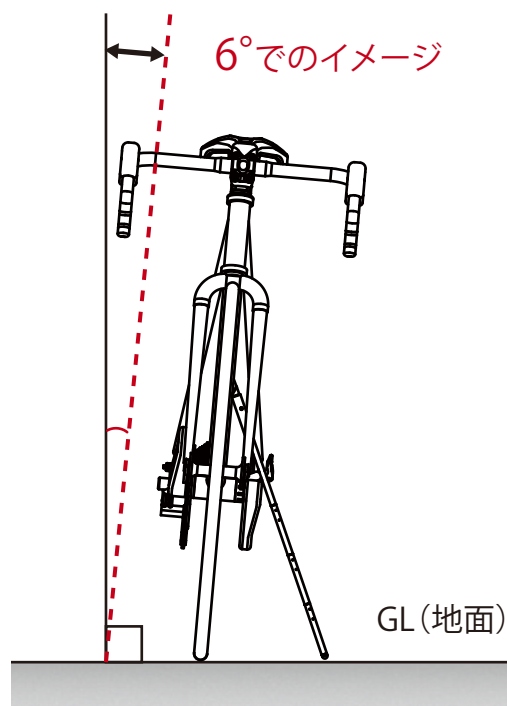
PHS-1の全長は、ユーザーによって495mm～523mmの間で調整できます。一覧表では、最小の長さ495mmを“S”、最大の長さ523mmを“L”と表示しています。

PHS-1の全長
(495mm～523mm)



車体の傾き

使用時は、自転車を6°～10°程度傾けます。



図面上設計角度(参考数値)

取付け位置までの高さ推奨寸法=420mm～500mm

取付け位置までの高さ	PHS-1全長 (S=495mm L=523mm)	車体の傾き (自転車の立ち角度)	対応状況
440mm	S	2.4°※1	○
450mm	S	5.0°※1	○
460mm	S	7.6°	○
470mm	S	10.12°	○
480mm	S	12.64°※2	○
490mm	S	15.11°※2	○
500mm	S	17.53°	不可
	L	10.75°	○
510mm	L	13.14°	不可
520mm	L	15.48°	不可
530mm	L	17.74°	不可

※1:実際の使用時では、PHS-1本体がしなることで設計値の角度がプラスされます。 ※2:中間サイズへの長さ調整により対応可